

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 横浜市立万騎が原小学校

① 学習指導案

プログラム	No.5 「地域カルタをつくろう」
単元名 (全10時間)	地域のマークカルタで安全なまちをつくろう大作戦！
学習のねらい	地域カルタづくりを通して、まちづくりに関わる人々の思いや願いに気付き、まちに愛着をもつとともに、自分にできることを考え地域に主体的に関わろうとする。
学習内容	1 絵札・読み札の構想づくりを行う。 2 カルタの題材を探しに地域を探検し、写真を撮る。 3 絵札・読み札を作成する。 4 地域カルタ大会を行う。
参考資料 準備品 実施場所等	準備品：見本となるようなカルタ、地域探検用の地図、カード、タブレット 実施場所：教室、学校の周辺

学習の流れ（7／10）

時間	学習活動	教師の指導	評価
5	1.本時のめあてを確認する。	・地域を探検した際に撮影した写真を提示し、意欲を高める。 ・カルタを作成する目的を確認する。	
15	2.絵札にする写真を選び、読み札の言葉を考える。	・マークや標識の説明ではなく、地域ならではの写真や言葉を取り入れ、まちづくりの中に込められた人々の思いが伝えられるように声掛けをする。 ・七語調にこだわらなくてもよいことを伝える。	・自分の伝えたい思いが表れるように、言葉を選んで読み札を作成することができる。
20	3.考えた読み札の言葉をグループで交流する。	・読み札を読み感じたことをきちんと伝えられるように、伝え方を確認する。 ・よりよい表現を考えることができるように、国語辞典等を準備しておく。	・友達の考えた読み札に対して、目的に合った意見や感想を伝えることができる。
5	4.振り返りをする。		

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立万騎が原小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
2 【総合】	教室	絵札・読み札の構想づくりを行う。 学習の見通しをもつ。	 	活動内容を考えたことでイメージが膨らみ、カルタづくりを楽しみにしている様子が見られた。
3 【総合】	地域	カルタの題材を探しに地域を探検し、写真を撮る。 撮った写真を振り返り、絵札にしたい写真を選ぶ。		改めて探検する中で、地域の中にあるマークの多さに驚いた様子だった。また、「なぜこのマークが多いんだろう。」と疑問も生まれた。
3 【総合】	教室	絵札に合わせて読み札の言葉を考える。友達と読み合いながら、よりまちのことが伝わるよう言葉を工夫する。		国語科で俳句や川柳を作成したことを行なながら、リズムよく読めるよう工夫する姿が見られた。また、友達と見合うことで互いにアドバイスをし合う姿も見られた。
2 【総合】	教室	全校に呼びかけ、中休みに地域マークカルタ大会を行う。 活動を振り返り、地域の景観に対する気付きをまとめる。		カルタを楽しむだけでなく、こんなマークもあるんだよと紹介する等大会に来てくれた児童と話す姿が見られた。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

カルタ作りを始める前から、学級で様々なカルタで遊ぶ時間を設けた。そうしたことでも、児童から「カルタを作つてみたい！」という声があがり、自発的な活動にすることことができた。また、様々なカルタに触れることで、読み札の言葉の選び方やリズムの特徴に注目することができた。

(2) 実施にあたり苦労した点

児童が興味をもった地域のマークや標識に焦点を当ててカルタを作成したこと、児童の絵札にしたい写真の内容がかぶってしまい、50音揃えることに時間がかかった。

読み札の作成では、七語調にこだわり、まちのよさを伝える内容になつていなかつた。

(3) 児童の反応

普段生活しているまちでも、視点を変えると見え方が変わったり新しい気づきがあったりすることを学び、自分たちの住むまちへの愛着を深めることができた。また、マークや標識に注目したことで、まちの安全を守るために働いている人たちの存在に気づくことができた。カルタという皆で遊べる材だったこともあり、楽しく活動する姿が見られた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

日頃から、施設や道、風景など様々な視点から地域を見て、その価値について考える必要があると感じた。また、幼稚園やケアプラザなど地域とつながるとよりよい学習を計画できたのではないかと考えた。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

学習の始めに児童たちに地域の良さを聞くと「公園が多い」という意見が多くあがった。地域にある資源に児童が気付くためには、教師側が地域に対する理解を深めておく必要がある。また、繰り返し地域に出る必要がある。